

金田 正一

(旭川大短大)

目的 メキシコにおける幼稚園児の母親のしつけにおいて重視することおよび人間観社会観を明らかにする。

方法 調査票を配布し、その場で記入してもらい回収する方法をとった。公立幼稚園4、私立幼稚園2の計6園で、子どもが通園している母親113名を調査対象にし、2000年11月にメキシコシティで実施した。

結果 1。母親が子どもに身につけてほしいことは、第一順位では、基本的な生活習慣、責任感、自主性の順である。第三順位まででは、責任感、自主性、基本的な生活習慣の順であり、いずれも子どもの性別による性差はない。

2。子どもを産み育てる意味については、家族の結びつきを強める、次の社会をつくる世代を育てる、出産育児によって自分が成長するをあげるものが多い。

3。母親が小学校3、4年生だったころと比較して現在の同学年の子どもをみると、幸福、健康、自主性に関しては優れているとするが、礼儀正しさ、同情心については劣っていると考えている。

4。人間観社会観については、現在を楽しむことがもっとも大切と考えており、メキシコは本当によい国だ、一生懸命努力すればきっと幸せになれる、世の中のことはお金で決まることが多いと考えている。

5。母親の年齢とのクロス集計結果は、当日発表する。